



WJBL PRESS RELEASE

2021年12月17日

【重要】収容率 100%での試合開催についてのお知らせ

いつも W リーグに温かいご声援いただき誠にありがとうございます。

W リーグでは、内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室から発表された「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方」に基づき 2022 年 1 月 29 日（土）30 日（日）に国立代々木第二体育館（東京都渋谷区）にて開催いたします。「ステーキハウス ブロンコビリー presents Wリーグオールスター 2021-2022 in 代々木」以降の W リーグ主管興行について「収容人数 5,000 人未満」「大声なし」の区分として、収容率 100%にて開催いたします。

なお、収容率は変更いたしますが、原則は「**Wリーグ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン**」に準じた上で、ご観戦される皆様やチーム・選手・スタッフが安心できる試合会場を目指すことについて変更はございません。ご観戦される皆様におかれましては引き続き感染対策にご理解・ご協力いただきますようお願い申し上げます

また、クラブ主管試合については各主催クラブチームよりお知らせさせていただきます。

制限緩和の理由

2021年11月19日に政府より示されたイベント開催制限

(https://corona.go.jp/package/assets/pdf/jimu_kihon_event_ryuuijikou.pdf) に基づいて

「大声なし」のイベントであること、収容人数5000人以下であることから代々木第二体育館等で開催される試合においては収容率100%の開催とします。

安全な試合開催に向けて

改めまして、新型コロナウイルス感染防止対策へのご協力をお願いいたします。

https://www.wjbl.org/static/topics/23rd_pdf/20211217_announcement100.pdf

都道府県が定める様式に基づく感染防止策等を記載したチェックリスト

都道府県が定めるイベント開催時のチェックリストの公表がイベント主催者に求められていることから、以下の通り東京都で定められた様式のチェックリストを公表いたします。

【国立代々木競技場第2体育館】

イベント開催時のチェックリスト

【第1版(令和3年11月版)】

開催概要	本項目では、チェックリストを記入する前に、イベントの情報をご登録ください。	
イベント名	Wリーグオールスターin2021-2022および第23回Wリーグ リーグ主管試合	
出演者・チーム等	Wリーグ所属13チーム	
開催日時	第23回Wリーグシーズン試合日程の通り https://www.wjbl.org/static/topics/23rd_pdf/23rd_schedule_2022.pdf	
開催会場	国立代々木競技場第2体育館	
会場所在地	東京都渋谷区神南2-1-1	
主催者	一般社団法人バスケットボール女子日本リーグ	
主催者所在地	東京都文京区後楽1-7-27後楽鹿島ビル6階	
主催者連絡先	(電話番号)	(メールアドレス) support@wjbl.org
収容率(上限)	<input checked="" type="checkbox"/> 100% (大声なし) ^(※)	<input type="checkbox"/> 人と人が触れ合わない程度の間隔
	<input type="checkbox"/> 50% (大声あり) ^(※)	<input type="checkbox"/> 十分な人と人との間隔 (できるだけ2m、最低1m)
収容人数	3,500 人	
参加人数	3,500 人	
その他特記事項		

「その他特記事項」には、大声なしの場合は、大声なしと判断した理由や、大声を伴わないことを担保する具体的な対策を記載ください。

(※)大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨するまたは必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当することと整理する。

1

感染防止策チェックリスト

【第1版(令和3年11月版)】

基本的な感染防止

イベント開催時には、下記の項目(イベント開催時の必要な感染防止策)を満たすことが必要です。

※5,000人かつ収容率50%超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。

①飛沫の抑制(マスク着用や大声を出さないこと)の徹底



【大声なしの場合】

飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク(品質の確かな、できれば不織布)の正しい着用や大声(※)を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる。

(※)大声の定義を「観客等が、①通常よりも大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」とする。

【大声ありの場合】

「大声なしの場合」の「大声」を「常時大声を出す行為」と読み替える。

②手洗、手指施設消毒の徹底



こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す(会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施。)



主催者側による施設内(出入口、トイレ、共用部等)の定期的かつこまめな消毒の実施。

③換気の徹底



法令を遵守した空調設備の設置による常時換気または、こまめな換気(1時間に2回以上・1回に5分以上等)の徹底。

④来場者間の密集回避



入退場時の密集を回避するための措置(入場ゲートの増設や時間差入退場等)の実施。



休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や導線確保等の体制構築。



大声を伴わない場合には、人と人が触れ合わない間隔、大声を伴う可能性のあるイベントは、前後左右の座席との身体的距離の確保

2

感染防止策チェックリスト

【第1版(令和3年11月版)】

基本的な 感染防止

イベント開催時には、下記の項目(イベント開催時の必要な感染防止策)を満たすことが必要です。

※5,000人かつ収容率50%超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。

⑤ 飲食の制限

- 飲食時の感染防止策(飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策)の徹底。
- 飲食中以外のマスク着用の推奨。
- 長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外(例:観客席等)は自粛。
- 自治体等の要請を踏まえた飲食・酒類提供の可否判断(提供する場合には飲酒による大声等を防ぐ対策を検討。)

⑥ 出演者等の感染対策

- 有症状者(発熱または風邪等の症状を呈する者)は出演・練習を控えるなど日常から出演者やスタッフ等の健康管理を徹底する。
- 練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する。
- 出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる(誘導スタッフ等必要な場合を除く。)

⑦ 参加者の把握・管理等

- チケット購入時または入場時の連絡先確認や「もしサポ滋賀」を活用した参加者の把握。
- 入場時の検温、有症状(発熱または風邪等の症状)等を理由に入場できなかった際の払戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止。
- 時差入退場の注意喚起や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起。

上記に加え、各業界が定める業種別ガイドライン(該当する業種において策定されている場合)を遵守すること。